

授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2024 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|------------------|--------|--|
| アパレルCAD | 樋口 吉徳 | <p>アンケート結果 拝見致しました。 当初 授業の進め方として 始めに説明して それをmanabaに録画した物を振り返りながら 学生が実習したら良いか、と思っていました。 進めてみると すぐに動画がアップされる事は難しく 学生と同時進行で実習する事になってしまい 個別に対応している時間には他の学生を待たせる時間が多くなってしまったと反省しております。 以降はそれを踏まえて取り組みたいと思っております。</p> |
| アパレルデザイン基礎 | 滝澤 愛 | <p>昨年度にも記述したが、この授業のタイトル「アパレルデザイン基礎」というものと、前任から引き継いだ内容が全く乖離しており、実際には「被服構成学」であるため、初回ガイダンスでもしっかりシラバスや授業内容について説明を行い、授業内容について、それを理解した上受講するよう伝えた。 もっと言うと、アパレルを専門にする学生にとっては基礎科目であるが、そうでない場合は専門的内容になるので難しい旨、かなり説明をした。 しかし念入りに行った「アパレルの専門的内容である」ことの説明の理解があまりされなかったようで、他分野の学生が多く履修していたため、理解度が低かったようである。 また、小テストにおいても、全く勉強をした形跡が見られない学生も多く散見されたため、今後はアパレルの学生以外は本当に難しい内容である説明を徹底しなければならないと考える。</p> |
| インテリアコーディネート演習 | 山口 照也 | <p>課題Ⅱの結果についてですが、皆さんそれぞれの個性が出ている作品で今後の可能性を感じました。詳しくは掲示板に掲載した「山口の講評」の中のコメントの通りです。全員、良かった点と良くなかった点があったので、今後の参考にしてください。 課題Ⅱの対象は、集合住宅の1住戸とは言え、住まい全体を計画し全部をコーディネートするのは初めての経験で大変だったと思いますが、将来コーディネーターになってもならなくても役に立つと思います。お疲れ様でした。</p> <p>アンケート結果については、アンケートへの回答が無かったのでコメントすることができませんでした。</p> |
| インテリアデザイン演習 | 山口 照也 | <p>アンケートへの協力ありがとうございました。回答者は6人でした。 ①「成長の実感記述」に3人から次のようなコメントがありました。 ・インテリア計画についての理解が深まった。 ・0から1を発想として作り出すことが私はすごく苦手なので先生とのエスキスをおして、こっちの目線から見た時のものや家具の在り方を考えるのが楽しかった。 ・自分でデザインしたり、インテリアについて分析することで、知識が深まった。 毎年、設計製図課題との両立が大変だと聞いていましたが、今年は新たな演習授業との両立もあったようで、履修者が半減してしまい、本当に大変だったと思います。お疲れ様でした。 ②今年「自由記述欄」への記載が無く、アンケート各項目でも特に際立った点も見られませんでした。 演習課題をまとめるのは大変だったと思いますが、問題点を見つけ、改善できる計画案を考え、図面と模型で表現し、自分の口でプレゼンテーションを行ったことからはこれから役立つと思っています。</p> |
| コンピュータとプログラミング演習 | 小山 裕司 | <p>履修者が数名であったため、平均値から推定は十分では無いが、項目4、13、16は全体平均及び区分平均を下回り、項目7は全体平均のみを下回ったが、残りの項目は全体平均及び区分平均以上の評価であった。履修者が数名であり、また授業の多くは演習であったため、評価は高めに付く傾向にはあるが、今年度の授業は概ね及第点であったと判断する。次年度の授業では、項目4、7、13、16を改善するように授業を工夫したいと思う。</p> |
| テキスタイル管理学 | 塩原 みゆき | <p>ほぼほぼ授業内容については、理解されている結果を思われる。 さらに、授業の内容の向上を図りたい。</p> |
| テキスタイル材料実験 | 加藤木 秀章 | <p>テキストから授業の予習を行うと学習に効果的です。</p> |
| デザイン基礎演習 a | 安齋 利典 | <p>大問I Q1の欠席は他平均よりやや少なかったようだが、Q4の理解はあまり芳しくない結果となっております。 大問Ⅱ、Ⅲ 全体に他の平均を下回っており、改善の余地があると感じております。 その中でも、 Q13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いませんか？ Q16. あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか？ が他平均より上回っており、意欲的に取り組み、さらに学びたいと思っていることがわかります。 Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「ポートフォリオの作り方やデザインの基本を身につけることができた。」というような意見が多くあり、安心しました。</p> |

[2024 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|--------------|-------|---|
| デザイン基礎演習 a | 安齋 利典 | <p>大問I Q1の欠席は他平均よりやや少なかったようだが、Q4の理解はあまり芳しくない結果となっております。</p> <p>大問II、III 全体に他の平均を下回っており、改善の余地があると感じております。その中でも、 Q13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いましたか？ Q16. あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか？ が他平均より上回っており、意欲的に取り組み、さらに学びたいと思っていることがわかります。 Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「物の影の方向やパースの方向などを理解することが出来た。」というような意見が多くあり、安心しました。</p> |
| デザイン基礎演習 b | 内藤 将俊 | <p>90度、180度、360度開きの複雑な折り紙建築の作成に加え、ほとんどの受講生が初めて扱うステンレボードやステンレペーパーを使用したコンタ模型や光の空間（別荘）、光の空間（自由課題）の制作などを通して、高い創造性を身につけてくださったと思います。課題提出率も非常に高く、意欲的に取り組んでくださいました。特に、光の空間（別荘）では、空間を想像することにやや苦勞している様子でしたが、最終課題の光の空間（自由課題）では、自由な発想でシーンをイメージし、それに適した材料や光源を用いて作成している様子が伺えました。そして、光や影、撮影アングルに工夫を凝らした、力作が非常に多く見受けられました。</p> |
| デザイン基礎演習 b | 内藤 将俊 | <p>90度、180度、360度開きの複雑な折り紙建築の作成に加え、ほとんどの受講生が初めて扱うステンレボードやステンレペーパーを使用したコンタ模型や光の空間（別荘）、光の空間（自由課題）の制作などを通して、高い創造性を身につけてくださったと思います。課題提出率も非常に高く、意欲的に取り組んでくださいました。特に、光の空間（別荘）では、空間を想像することにやや苦勞している様子でしたが、最終課題の光の空間（自由課題）では、自由な発想でシーンをイメージし、それに適した材料や光源を用いて作成している様子が伺えました。そして、光や影、撮影アングルに工夫を凝らした、力作が非常に多く見受けられました。</p> |
| ファッションデザイン論 | 滝澤 愛 | <p>大変いい評価となり学生にとっていい授業を展開できたことに安心した。とりわけ、「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」4.70、「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」4.70、「この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いましたか？」4.90と、非常に高い。ファッションデザインの導入部の基礎的内容で、このデータから見られるように多くの関心と興味を惹くことが出来たことは、今後の発展的なデザインの学びに繋がると考えられ、これからのファッションデザインに関する受講生の成長が楽しみである。</p> |
| ファッションビジネス演習 | 大川 知子 | <p>3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。5限の授業は敬遠される中、熱心に受講いただき、ありがとうございました。授業の満足度は、4.89と大変高く、また、みなさんご自身も意欲的に取り組んだ...とのこと(4.78)で、良かったです。最後の、発注演習のコメントを多くいただきましたが、余り準備時間も無い中、精度の高いプレゼンテーションだったと思います。</p> <p>中には、課題の量が多いというご指摘もありましたが、演習ですので、必然的に課題は多くなる傾向にあると思います。課題の数については、多くなったのは、その前の週に減らした分が嵩んだ為で、最終課題を除いては、何れも復習を兼ねた簡単な課題ばかりでした。ですので、平均して課題が多いとは言えないと思います。</p> <p>その他、こちらが提出先の欄を設定し損じていた...、とのご指摘もあり、授業の際にもお詫びをしましたが、その点、改めてお詫びをします。ただ、毎週、お顔を合わせており、manabaの「個別指導欄」も積極的に活用する授業でしたので、気づいていただいた時に、コメントいただけたら、なお有り難かったです。</p> <p>もう直ぐ、後期も始まります。引き続き、頑張りましょう。何かあれば、気兼ねなく、連絡を下さい。</p> |
| ファッション文化論 | 石上 美紀 | <p>全体的に（特に「この授業の内容と方法について」）まずまずの好意的な評価を得ることができたように思われます。が、聞き取りやすさに関しては若干評価が下がる点もありますし、双方向授業の工夫も含めて他にもまだ改善の余地があると考えておりますので、さらに改良を試みたいと思います。なによりも回答率が25%ほどと、大変低い結果に終わりましたので、今後は回答率を上げるようにさらに留意したいと思います。</p> |

[2024 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|-------------|--------|--|
| ファッションビジネス論 | 大川 知子 | <p>3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。総合的な授業の評価としては、4.57と高い評価をいただき、ありがとうございました。コメントも含め、みなさんからは好意的な評価をいただいたのですが、今回は、受講生が大変多かった為、「個人課題」の発表に授業の3分の1~2分の1程度を使用せざるを得ず、自分自身としては、専門的な内容が、例年よりも上手くカバー出来なかったように思います。</p> <p>それでも、「新しい視点を得た」「漠然としていた内容が、クリアになった」「ファッションビジネスへの関心が深まった」など、今後、みなさんがどのような分野を深めて行かれるにせよ、少しでも成長の糧になれたのなら、良かったです。</p> <p>授業の評価は、基本的に提出物を主体とし、2度の小テストで内容の理解度を確認しました。提出物も、一人一人の内容を確認しました。中には、厳しい評価にせざるを得ない方々も居ました。もしも、引き続き後期も、他の科目を受講される場合には、毎回の課題を内容も吟味し、きちんと提出するよう、心掛けて下さい。後期も、頑張っていきましょう。</p> |
| プロダクトデザイン概論 | 安齋 利典 | <p>大問I Q1. 若干欠席は多く全体平均と当該区分平均よりやや上回っていたようです。 Q2. 予習復習は当該区分平均よりやや少ないものの、全体平均より多くやっていたようです。 Q4. 授業の理解度は他の平均よりもよく、安心しました。 Q2.4から、身につけていることが想像できます。</p> <p>大問II, III 全体的に他の平均より下回っており、PPTや説明方法に改善の余地があると思いました。</p> <p>Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「プロダクトデザインの歴史やデザインプロセスなどについての理解が深まった。」というような意見が多くあり、安心しました。</p> |
| マテリアル・デザイン | 加藤木 秀章 | 身近な生活で素材が多く使われ、意識すると学修に効果的です。 |
| ユニバーサルデザイン論 | 佐藤 健 | 受講生の皆さんにとってはUD（誰もが・・・XXXできる）にならなかったようです。話を聞いて、解釈が間違っている場合は、聞きなおすとか質問を的確にして、情報を検証する習慣を持ちましょう。非常に、広い視野と高い感性がある受講生が数名いて、頼もしいです。 |
| 感性と生活情報システム | 佐藤 健 | 科目としてクローズする科目です。最後なので、次年度からのお試し内容か、これまでで、受講生が喜んだ内容を試したかったですが、研究室の引越で、見当たらないものが多くて、講義に徹してしまいました。もっと、探求したい場合は、研究室で対応します。 |
| 基礎造形論 | 安齋 利典 | <p>大問I 欠席はやや多かったものの、予習復習の時間も長く、何よりも理解度の割合が高いが心強いところです。</p> <p>大問II Q6.のスピードやQ10.の聞き取りやすさの評価もよく、今後も継続していきたいと思えます。</p> <p>大問III Q13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いませんか？ Q16. あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか？ が他平均より上回っており、意欲的に取り組み、さらに学びたいと思えることがわかります。</p> <p>Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「身の回りにあるものが今回学んだような造形であること。日常生活においてその発見により興味を湧きました。」というような意見があり、安心しました。</p> |
| 機能材料学 | 加藤木 秀章 | 意識して身近な機能性に気が付くと、より学修に効果的です。 |
| 建築・インテリア構法 | 内藤 将俊 | 本講義は、木構造や鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造などの建築主要構造に加え、屋根や床、壁などの各種構法を網羅した、一般構造を総合的に扱う講義でした。広範囲に及び、かつ専門性を要する内容であったと思います。レポートの提出率も高く、さらに、資料持ち込み不可であった最終試験の結果も良好であり、多くの受講生が意欲的に取り組んでくださったと思います。 |
| 建築概論 | 榎 究 | 興味は増すことが出来たようですが、Q6と7、説明のスピードと分かりやすさの点数が低かったため、重要なところを強調してほしいというコメントなどを参考にして、次年度改善を試みます。 |
| 建築法規 | 橋 弘志 | 全体にほぼ平均に近い評価となっている。今年度からは、板書ではなくスライドで資料を作り、事前に資料としても配付して、スライド投影しながら説明する形に変更した。板書の時間を説明に使うことができ、少し時間をかけて説明できたと思う反面、板書を行わないぶん、どんどん進んでいったという印象もあるかもしれない。 |

[2024 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|-----------|--------|---|
| 住環境デザイン論 | 内藤 将俊 | 本講義では、大別して「そこで行われるアクティビティと空間との関係性」や「近現代の優れた建築作品の分析や解説」そして、「現代の多様な住環境における先進的な試み」についてお伝えするよう努めてまいりました。創造性を要するレポートを数多く出題いたしましたが、多くの方々が現状の住環境の問題点などを探し出してそれを改善するための提案を示して下さいました。是非とも、生活空間設計製図など、専門性が高い来年度以降の演習科目で積極的に活用してみてください。 |
| 住居学 | 橋 弘志 | どの項目も、平均ないし平均をやや上回る評価となった。1年前期の科目ということもあり、まずはこの分野に興味をもって楽しんでもらうことが目標である。授業の補足という意味もあり、毎回、振り返りで出された質問には回答し、授業の冒頭に少し時間を使って説明を加えていることで、より多面的に物事を見られるように意識している。もう少し授業のスピードを上げて、より現代の話にも触れていきたいが、途中を端折ることも難しく、悩みどころである。 |
| 消費科学 | 大川 知子 | 3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。「授業を通じて、自身の成長を実感出来たか」については 4.71、また、授業への満足度も4.76と大変高い評価をいただき、ありがとうございました。 中には難しい内容や、社会の暗い部分の話もあったかも知れませんが、それらに蓋をせず、しっかりと受け止めた上で、今後、みなさんが社会で、どのように人と交わり、考え、行動するかという、一つの新しい視点になれば...、という気持ちで授業を行いました。 4年生のみなさんは、いよいよ、卒業研究が佳境になりますが、最期迄しっかりと頑張ってください。陰ながら、応援しています。 |
| 情報デザイン論 | 佐藤 健 | 初めての科目で、内容を調査しながら行ってみました。 1年生には難しかったかもしれません。少しづつ、ITスキルが高くなれば、プログラミングやWEBのデザインなどにも授業で挑戦したいです。 |
| 人間工学実験 | 佐藤 健 | 研究室が引っ越しとなり、実験に使う機器が故障したり、つながるコードが見つからなくて、予定した課題をクリアできませんでしたが、新たに、スペクトログラムをかけてよかったです。実験のスキルは、データを処理するところまで必要なので、データサイエンスそのものです。 |
| 生活環境学セミナー | 大川 知子 | 3ヶ月半の授業お疲れ様でした。協力を呼び掛けたのですが、10名中2名のみの回答で残念です。特に、個別のコメントもいただけていないので、こちらからコメントすることも、中々難しいのですが、前期は助走期間で、後期が本番。他大学との実践的なプロジェクトが始まるので、引き続き、皆と協力しながら、頑張っていきましょう。何かあれば、遠慮なく、いつでも相談にいらして下さい。※manabaの「個別指導欄」も活用して下さい。 |
| 生活環境学セミナー | 塩原 みゆき | 当該セミナーは、通年のゼミ活動であるため、アンケートに答えた学生は、3分の1の3名だった。後期には実際に論文を読んで、パワーポイントにまとめ、発表するという卒論に関係することを行うので、しっかりと指導していきたい。 |
| 生活環境学セミナー | 安齋 利典 | 大問I 欠席はやや多かったものの、予習復習の時間も長く、何よりも理解度の割合が高いが心強いところです。 大問II 全体に上回っていますが、特に、Q8. 双方向授業等の工夫、Q9. 配布資料のわかりやすさ、Q10. 聞き取りやすさ、が高評価である、少数学生多少授業の効果が現れていると感じました。 大問III Q14の自己評価は低かったものの、ほかは高評価であり、意欲的に取り組み、さらに学びたいと思っていることがわかります。 Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「モノづくりやデザインに対する考えや発想が身についた」というような意見があり、安心しました。 |
| 生活環境学セミナー | 滝澤 愛 | 「この科目(系・分野)をさらに学びたいと思いましたか？」4.67 「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」4.67 対して 「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか？」4.33 「あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか？」3.33 より成長を実感し、自己評価が高められるよう、後期も引き続き課題の取り組みを頑張ってください。とりわけ、文化祭で作品を披露しますので、それは第三者、他人から評価がされます。身内ではない方々からきちんとした評価をしていただけるよう、これからの取り組みに期待いたします。 |
| 生活環境学セミナー | 佐藤 健 | ゼミは、通年で2単位です。半期だと1単位換算で、少ないと考えるか、充実させようとするか、できるだけ、後者で後期もしっかり活動しましょう。 |

[2024 (前期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名 | 教員名 | 教員からのコメント |
|-----------|---|---|
| 生活環境学セミナー | 一色 ヒロタカ | 新設の分野ということもあり、当科目を履修する学生達へは、「コミュニティデザイン分野の基礎的な知識やスキルを身につける」ところから取り組んでいます。後期講義に繋がるためのリサーチや企画づくりなど、コミュニティデザインの実践を通して、地域と関わる 実感値を持ってもらえたのではないかと思います。 |
| 生活環境学入門 | 橋 弘志 大川 知子 安齋 利典 一色 ヒロタカ 加藤木 秀章 佐藤 健 塩原 みゆき 滝澤 愛 内藤 将俊 槇 究 | 今年度、新カリキュラムになって始まった必修科目。学科専任教員全員によるオムニバスで、毎週さまざまな分野特有の話聞いて、視野を広げるとともに、これからの履修計画に役立ててもらおうという主旨で行った。内容も授業形態も、いままでにはなかった科目であり、パタパタしたり計画通りにならなかった部分もあるものの、おおむね冒頭の目的には叶う授業になったと思われる。グループワークや対話形式を増やすなど、全体にもう少しアクティブな要素を入れていくことも検討していきたい。 |
| 生活環境基礎 a | 加藤木 秀章 | 身近な生活をもてみると、数学が多様されています。意識すると学修に効果的です。 |
| 生活環境基礎 b | 佐藤 健 | 皆さん、授業をしっかり対応してくれて、ありがとう。そして、1年生は2年後、2年生は1年後まで忘れないようにしてください。 |
| 生活環境工学 | 槇 究 | 全体に評価は低めでした。物理的な内容も入ってくる、計算問題も入ってくるといった辺りで理解が難しい所あったかもしれませんが。その辺り、どうやって理解度を上げていか、次年度に向けて考えてみます。 |
| 生活空間設計製図Ⅰ | 内藤 将俊 | 初めての本格的な建築設計作業であったと思います。多くの方がスタディ模型や図面を用意し、積極的にエスキスに取り組んで下さいました。決して思い付きではなく、一つひとつ丁寧に案をブラッシュアップしている受講生が多く、とても印象的でした。結果的に、みなさんが図面や模型等の最終提出物の作成に苦戦されたでしょうが、素晴らしい作品が極めて多く見受けられました。是非とも生活空間設計製図Ⅱ、Ⅲも積極的に取り組んでください。 |
| 生活空間設計製図Ⅲ | 一色 ヒロタカ | 年々履修学生が増加し、学生同意での時間延長にて講義を実施しました。「3」という科目のため、演習の熟達レベルも高いものとなっていますが、一般的に学生一人ひとりへの個別指導時間が不足していると感じています。また例年よりも、「技術を身につけたい」という学生がほとんどを占める中、「資格用単位として、最低限の課題提出で単位を取得したい」という学生の比重が高まったと感じています。 |
| 生理人類学 | 前田 亜紀子 | アンケートの回答ありがとうございました。回答率38.8%と低く、さらに呼びかけと記入時間を設ける必要があることがわかりました。この授業は、人類の多様性を認識し、多角的な視点を通じて、世界を眺める態度を身につけることを目的としています。12章のテーマでプリント資料を作成し、講義形式で解説しました。そのため、双方向授業等の工夫がなされていなかったと感じた人がいたようです。学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり知を探究する能力を身につけて欲しいと、知識詰め込み型の授業になってしまったことは否めません。アンケートの意見を参考に、manaba等を利用して、学修が身につけているかどうか確認しながら展開したいと思います。半期受講ありがとうございました。 |
| 染色加工学 | 塩原 みゆき | 染色理論という難しい内容を分かりやすく教える工夫をしたが、全体として、「授業内容が分かり易かった」と答えた割合が平均より多く、工夫の成果がアンケートに反映されていた。 |
| 繊維高分子材料実験 | 加藤木 秀章 | 科学を体験するとき、講義や予習で学んだ知識をもって取り組むと説明がよりわかりやすくなります。 |
| 伝統衣服実習 | 高橋 佐智子 | 皆さん、アンケートへの回答ありがとうございました。自由記述欄には好意的なコメントをいただき、今後の励みになります。被服製作に慣れていない人には時間のかかる工程もあり、大変だったかと思えます。お疲れさまでした。是非、身につけた技能と知識を今後の生活に役立ててください。 |